



コツコツ便り

2026

vol.14

重工記念長崎病院 OLS

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

寒さも厳しくなり、冬は1年の内で骨折が増加する季節となります。

今号は骨粗鬆症治療における治療費についてまとめてみました。

大腿骨近位部骨折と診断され、1ヵ月入院すると...

約120,000円の入院費が発生します。(一般世帯：3割)

※入院費の中には、手術料、食事、施設使用料等含みます

さて、外来で骨粗鬆症治療を行えば1ヵ月当たりの医療費(3割)はいくらになるのでしょうか？



	骨を作る薬		
薬剤名	テリパラチド	テリボン AI	オスタバロ
用法(自宅にて自己注射)	24ヵ月間	24ヵ月間	18ヵ月間
薬剤料	5,000円	15,000円	10,000円
再診料+在宅管理料	2,700円	2,500円	2,700円

※導入月から3ヵ月間は導入初期加算料として1,740円、注射機器料900円(オスタバロのみ)追加が発生します。

	骨を作りながら壊れるのを防ぐ薬	骨が壊れるのを防ぐ薬
薬剤名	イベニティ	プラリア
用法	12ヵ月間病院にて月1回注射	投与期限無し、病院にて6ヵ月に1回注射
再診料+薬剤料	15,500円	8,000円

外来での早期治療開始による骨折予防に取り組み、治療費と痛みを抑えましょう！

治療薬剤選択についてはかかりつけ医にご相談ください。

2026.1月発行